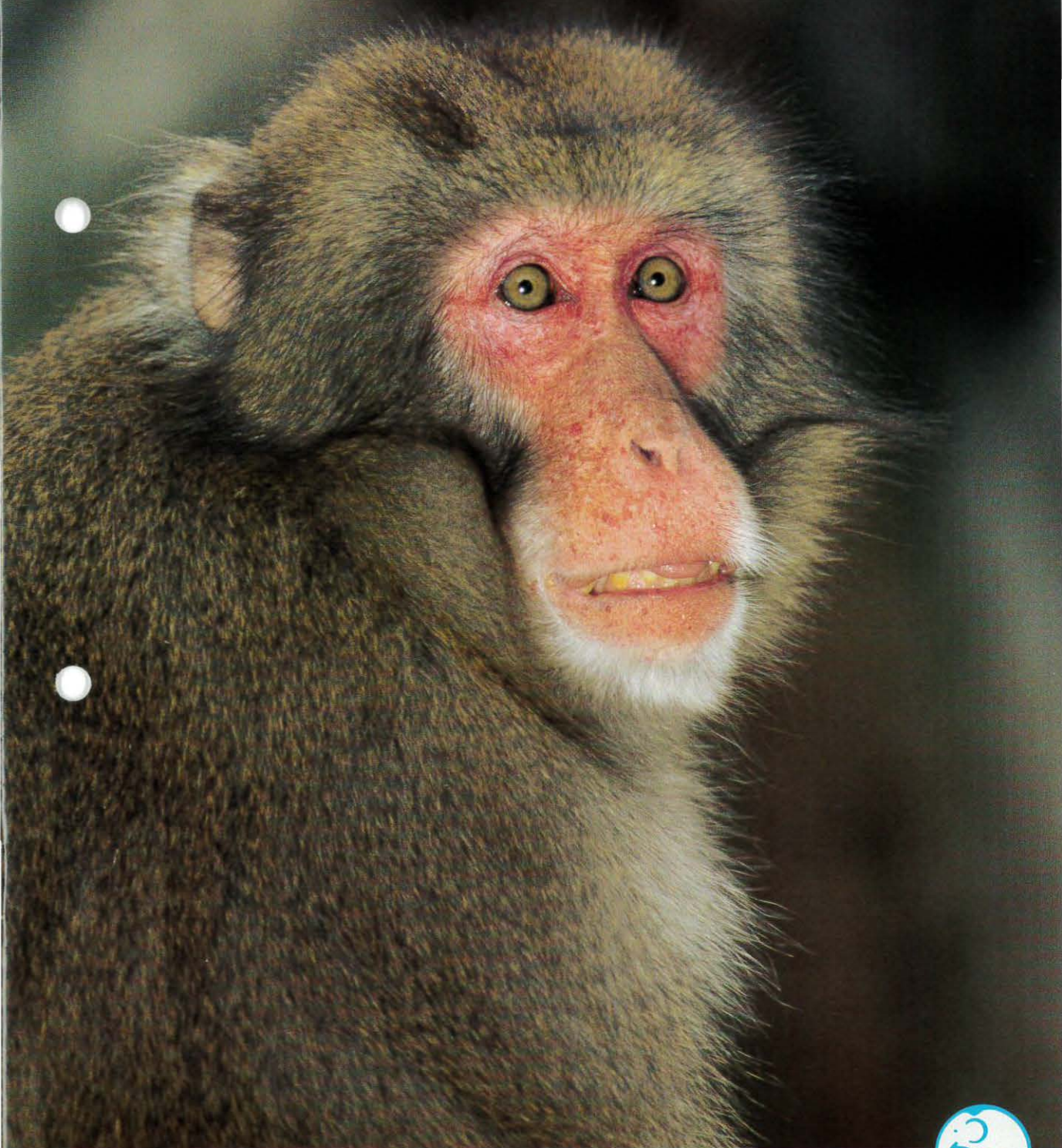


ISSN 0289-8144

# なきごえ 12

DEC.

1999



CONTENTS

New Face	ニホンザル	大野尊信	②
	動物とわたし	中村敬子	③
カバーウォッチング	ニホンザル	大野尊信	
ミネソタ大学猛禽センター		赤木智香子	④
	釣り人から見た自然	西田俊広	⑥
グラフZOO	ある夏の日のできごと	大野尊信	⑧
公園花だより	空中植物ティランジア	森岡伸晃	⑩
	ZOO DIARY	高見一利	⑪
	ZOO INFO	坂本全 松岡秀和	



ニホンザル

(サル目 オナガザル科)

今年生まれた11頭の中では最もおそく誕生(8月25日)しました。お母さんはコーチ、ボクはタタキと呼ばれています。  
(撮影・文：大野尊信)

表紙

Cover Watching

① カイウサギ	森本委利	⑦ エジプトガン	高橋雅之
② シロフクロウ	萩原祐二	⑧ オランウータン	油家謙二
③ ナベヅル	榊原安昭	⑨ ラマ	坂本全
④ ワニガメ	西村慶太	⑩ メガネグマ	油家謙二
⑤ ホッキョクグマ	坂本全	⑪ ヌートリア	松岡秀和
⑥ エリマキキツネザル	大野尊信	⑫ ニホンザル	大野尊信

ニューフェイス

New Face

① エリマキキツネザル	大野尊信	⑦ ツキノワテリムク	高橋雅之
② ナンベイウシガエル	萩原祐二	⑧ ライオン	油家謙二
③ ホッキョクグマ	大川光雄, 榊原安昭	⑨ アジアゴールデンデンキヤット	松岡秀和
④ コフランミンゴ	西村慶太	⑩ チョウセンオオタカ	油家謙二
⑤ ヒツジ	坂本全	⑪ スローロリス	森本委利
⑥ ヤギのあかちゃん	油家謙二	⑫ ニホンザル	大野尊信

動物とわたし

-どうぶつエッセイ-

① 動物で語ると...	趙博	⑦ こつづみと私と生き物	久田舜一郎
② ふしぎな楽器のこと	伯山正孝	⑧ 野生動物への恩返し ボランティア活動	堀浩
③ オランウータンになった5秒間!?	清水の芸人	⑨ オランウータンに出会えたボルネオのジャングル	戸田耿介
④ 絶滅の危機にある動物を描く	相澤ときえ	⑩ 狂言の世界の動物たち	善竹隆司
⑤ お隣犬「フク」の思い出	笑福亭伯鶴	⑪ 絶滅動物愛好家?	川端裕人
⑥ 動物園+水族+植物+ヒト=地球いきもの園!	北村彰	⑫ 人のいばしょ、生き物のいばしょ	中村敬子

グラフZOO

① カイウサギのなかま	高見一利	⑦ 動物園のあかちゃんたち	山崎道正
② 世界のトカゲ	村上勇一	⑧ 天王寺動物園のオランウータン	油家謙二
③ 世界のヘビ	西村慶太	⑨ サマースクール体験記 (第25回天王寺動物園サマースクール)	松岡秀和
④ 動物の歯	野口秀高	⑩ フロリダの動物園を訪ねてpart 1	長瀬健二郎
⑤ 新サイ舎の一日	西村慶太	⑪ フロリダの動物園を訪ねてpart 2	長瀬健二郎
⑥ はじめましてボク「ユキスケ」	大野尊信	⑫ ある夏の日のできごと	大野尊信

特別寄稿

WorldAnimals&Nature report

- |                                              |                      |                                     |       |
|----------------------------------------------|----------------------|-------------------------------------|-------|
| ① 絶滅危惧種アミノクロウサギのいま                           | 山田文雄                 | ⑦ 多田の空がカラスに占拠される時                   | 平田信活  |
| ② 日本にいるラッコの話                                 | 高橋千佳                 | ⑧ 森林火災とオランウータン                      | 鈴木 晃  |
| ③ おはなしでてこい、アフリカのお話<br>-サルとカメレオン-             | 山極納知子                | ⑨ 動物園と教育                            | 松本朱実  |
| ④ 北のサンクチュアリ ウトナイ湖                            | 葉山政治                 | ⑩ 南風に乗せて                            | 小倉聡子  |
| ⑤ 生駒山麓・池島地区のカワセミムーブメント<br>~「池島・福万寺カワセミ楽会」発足~ | 堀江 進<br>堀江洋子<br>中村敬子 | ⑪ 都市に残された自然-島熊山                     | 易 信子  |
| ⑥ 天神崎の自然と市民地主運動                              | 米本憲市                 | ⑫ ミネソタ大学猛禽センター<br>救護活動の野生動物保護に果たす役割 | 赤木智香子 |

紀行・記録・その他

- |                     |      |                   |                   |
|---------------------|------|-------------------|-------------------|
| ① ウサギの飼い方           | 西田雄之 | ⑦ インド旅行記-ゾウ使いに感心! | 油家謙二              |
| ② ゾウ会議について          | 高橋雅之 | ⑧ 天王寺動物園のオランウータン  | 土谷正道、高見一利<br>油家謙二 |
| ③ 行き場をなくした星の子供たち    | 西村慶太 | ⑨ サマースクール今昔       | 井門良子              |
| ④ 退職にあたり-動物園37年の思い出 | 浅田保夫 | ⑩ フロリダの動物園を訪ねて    | 長瀬健二郎             |
| ⑤ 新しいサイ舎になって        | 仲谷 登 | ⑪ フロリダの動物園を訪ねて    | 長瀬健二郎             |
| ⑥ 園長就任にあたって         | 中川哲男 | ⑫ 釣り人から見た自然       | 西田俊広              |
| ⑦ 動物にも漢方?           | 高橋雅之 |                   |                   |

連載・その他

けい太のなんでやねん!動物園

- |                           |      |
|---------------------------|------|
| ③ No.1 巨大ガメ・ワニガメのジョーは恋をする | 西村慶太 |
| ⑧ No.2 カメの卵は気長に待とう        | //   |
| ⑪ No.3 南の島のゆかいなカメ         | //   |

キーパーズアイ

- |                                  |      |
|----------------------------------|------|
| ② フライ・フッシングと私の悩み<br>こわがりのゾウ・博士   | 西田俊広 |
| ⑥ 自然はすぐそこにある<br>「飲まない」のか「飲めない」のか | 油家謙二 |
| ⑨ ゾウの水浴び                         | 早川 篤 |
|                                  | //   |
|                                  | 油家謙二 |

ケンちゃんの好きやねん動物園

- |            |      |
|------------|------|
| ⑤ 新サイ舎を訪ねて | 松葉 健 |
|------------|------|

公園・花だより

- |                    |      |
|--------------------|------|
| ④ No.23 植物と動物      | 山元貞幸 |
| ⑨ No.24 エアープランツ    | //   |
| ⑫ No.25 空中植物ティランジア | 森岡伸晃 |

獣医室から

- |                           |      |
|---------------------------|------|
| ① No.74 治療イロイロ            | 市川久雄 |
| ⑦ No.75 獣医診療の進歩           | 竹田正人 |
| ⑩ No.76 抗生物質の話-よく効く薬も使いよう | 市川久雄 |

ZOO DIARY



- |               |
|---------------|
| ①~⑦ 竹田正人/坂本 全 |
| ⑧~⑫ 高見一利/坂本 全 |

お知らせ



- |          |
|----------|
| ①~⑥ 中上正幸 |
| ⑦~⑫ 松岡秀和 |

動物とわたし

-どうぶつエッセイ-

中村敬子 さん

池島・福万寺カワセミ楽会



『人のいばしょ、生き物のいばしょ』

**私**の住む東大阪市の生駒山の裾野、瓢箪山というところは、一昔前までは段々畑や田んぼや、ため池の多い自然が豊かなところでした。家でお絵描きも好きでしたが、外に出て遊びを考え出したり、自分たちだけの特別なフィールドを探検したり、(その特別は、大半がある種の生き物であるのですが)『モノをつくることと、自然が好きなこと。』子供のころから、大人になった今でも、そしてきっと、この先も毎日やっていることが変わらなかったりします。

**こ**の前まで、動物園のケージ(オリの中)をつくる仕事をしていました。動物がどんな所に、どういう風に生活しているかということ、みんなが勉強できるように再現します(それを難しい言葉で「生態的展示」といいます)。その動物の動きを考えながら、限られたスペースの中で有効に遊べるように、その遊具となる木や岩を、樹脂やセメントで作ります。また壁にも住んでいる風景を描きます。「お客さんから、どういう風に見えるかな?」で

も動物の隠れ場所も必要だぞ!」お客さんの立場になったり、動物の立場になったり、時には飼育係の人の身になって、動物が快適に過ごしてもらえるように色々工夫していきます。一度、そういう作り手の目で、動物園をまわってみるのも面白いと思いますよ。

**今**はまた、地元で素晴らしいフィールドを見つけて活動しています。しかし残念ながら、そこも開発の手が伸び、治水緑地公園として造成されつつあります。そこで地元の自然観察者を募り、府に対し少しでも自然に配慮した公園づくりを要望することにしました。地元の理解を得るため、新聞を発行したり、写真展や観察会を開いたり、場所は動物園から野外へ移りましたが、人間も含め生き物全体が快適に住める環境づくりを模索しています。これからの動物園も、生活と余りにも切り離されてしまった、地元の素晴らしい自然との橋渡し施設として、もっとスポットが当たればナー、なんて考えています。

(なかむら けいこ)



ニホンザル

サル島ではベータオスとして  
実力第2位を誇るベロベロ

Cover Watching

サル目 オナガザル科  
Macaca fuscata

ヒトを除くサルの仲間の中で最も北の(寒い所)に生息することで知られています。短い尾はその適応の一つです。

(撮影・文:大野尊信)



骨折した猛禽の手術の様子

# World Animals & Nature report

## ミネソタ大学猛禽センター —救護活動の野生動物保護に果たす役割—

元ミネソタ大学猛禽センター研修獣医／非常勤職員

赤木 智香子

「**猛**禽(もうきん)」という言葉は一般にはあまり馴染(なじ)みがないかもしれませんが、ワシやタカ、ハヤブサ、フクロウといった鳥を指す専門用語です。アメリカには、この猛禽の救護および保護活動をしている「猛禽センター」があちこちに存在します。そのひとつ、アメリカ中西部にあるミネソタ大学猛禽センターについて、救護活動に焦点を絞ってご紹介します。今から25年前、ある教授と大学院生によって始められたこの猛禽センターは、現在までに1万1千羽を超える猛禽を受け入れてきました。当時は獣医学部の動物飼育施設の一角にあったセンターも、今では立派な建物に移っています。

**救**護活動はセンターの活動の中で、最も一般の注目を集めるものです。怪我(けが)をした猛禽が、適切な処置とリハビリが施されたのち野生復帰していく姿は、やはり感動的なものだからでしょう。救護活動がもたらせてくれるものは色々あります。猛禽に特殊な治療法などの、専門的な知識や経験が蓄積されることもそのひとつです。希少猛禽を飼育管理する時に役立つ情報も集まります。しかし、最も大きいものは教育および啓蒙(けいもう)効果かもしれません。鳥が発見されてから放鳥されるまでに、実に多くの人々がかかわるからです。また、この猛禽センターでは、野生復帰できなかった鳥が環境教育で活躍して、より多くの人にメッセージを送っているからでもあります。

**運**び込まれる猛禽の多くが、交通事故や窓への衝突、なかには猟銃(りょうじゅう)で撃たれた等の人間の活動が原因で負傷しています。我々の生活がいかに野生動物に関係しているかを示す、生き証人(いきしやうじん)のようなものです。散弾(さんだん)を肉と一緒に飲み込むことによる鉛中毒や、

農薬による中毒の例も見られます。それでは、救護の過程を説明しながら、どれくらいの人々が直接的、間接的にかかわっているかを見てみましょう。

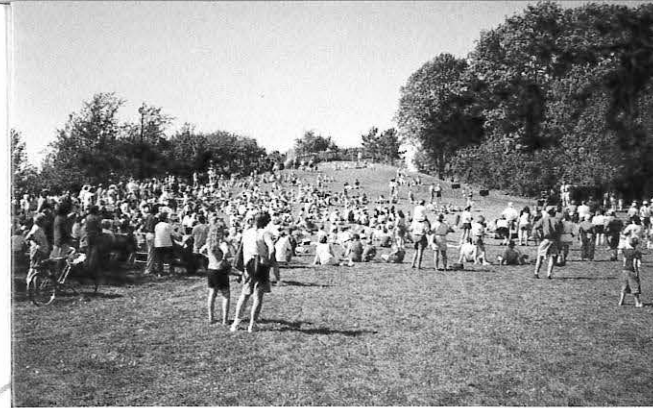
**鳥**は発見者やセンターのボランティアによって運ばれ、クリニックの獣医師や看護士によって処置が施されます。鳥の世話や診療の手伝いは、専門のボランティアの仕事です。回復したら、フライト・クルーと呼ばれる専門スタッフが、足にひもをつけて野外



治療後のハクトウワシをかかえて麻酔からの回復を待つボランティア

で飛行訓練を繰返(くりかえ)します。獲物を捕るのに十分な運動能力を取り戻すためです。時にはこの訓練を、鷹(たか)狩りのライセンスを持つ人にもお願いすることもあります。猛禽を使って狩りをする鷹狩りは、アメリカではスポーツとして広く親しまれ、免許制度も整っているのです。

**放**鳥の準備ができた猛禽は、スタッフやボランティアによって運ばれ、野生に戻っていきます。年に2回の公開放鳥では、多い時には数千人の市民が見守る中、空へ飛び立っていきます。



秋の公開放鳥に集まった人たち

**巢**から落ちたヒナの場合はどうでしょう。元気で親が分かっている場合は、親元に返してやります。返すと言っても巣は大抵高い所にありますから、登るのも一苦労。こんな時には、ツリー・クライマーと呼ばれる木登りを得意とする人に応援を頼みます。

返すべき巣が分からないヒナには、里親を探すこともします。同じくらいの日齢のヒナがいる同種の巣を探し出し、ヒナを入れてやると育ててくれるのです。しかし、そのためには、どこでどんな猛禽が巣をかけているかを知っておく必要があります。ここでまた、色々な人がかかわってくるのです。地元の野鳥関係の団体で、常に観察している猛禽の巣があったら情報をもらいます。また、近くにあるミネソタ動物園は広大で、敷地内にはかなりの面積の自然林や池があり、さまざまな種類の猛禽が生息しています。春早くに、動物園のスタッフも参加してその敷地内を調査し、その年に使われている巣を見つけておくのです。

**救**護活動と一口に言っても、これだけさまざまなステップで、多くの人に関係していることをお分かりいただけたでしょうか。実際に救護にあたる人も、放鳥のイベントに参加するだけの人も、猛禽やそれを取り巻く環境について、何か考えること、学ぶことがあると思います。

また、治療の甲斐なく放鳥できなくなった猛禽の一部は、環境教育プログラムで活躍しています。芸をするわけではありませんが、訓練されて大人しくトレーナーの手に止まっている猛禽を目の前で見ただけでも、大きなインパクトがあるものです。百聞は一見にしかず。実物を見ながらの猛禽に関する話は、やはり説得力が

あります。現在、10種類以上の猛禽35羽が、センター内外全米各地で行われるプログラムに使用され、年間10万人が参加しています。ここでも、総勢200人を超えるセンターのボランティアのうち、環境教育担当の人達がスタッフと一緒に活躍しています。

**そ**してこれらの活動は、テレビや新聞といったマスメディアを通して、さらに多くの人々に伝えられていきます。特に猛禽のレスキュー等は、多くの人が興味を示すようで、テレビのニュースによく取り上げられます。例えばミネソタ州南部を大きな竜巻(りゅうまわ)きが襲った時には、巻き込まれて負傷した猛禽が一度に運び込まれ、その救出劇とその後の治療や放鳥を取材するために、地元テレビ局各局が何度もセンターを訪れていました。また、猛禽がセンターのイベントの宣伝のためにスタジオに向かい、ニュースキャスターの隣でテレビ出演することも珍しくありません。



クリニックを見学する獣医師たち

救護そのものでは、野生動物の生息地の保護はできませんし、野生の個体数を増やすのにさほど貢献しているのでもありません。しかし、救護活動とそれに関連付属した活動もここまできれば、野生動物に対する人々の意識を高め、その保護を推し進める力を十分に持つと思います。近年、日本でも、野生動物の救護活動があちこちで行われるようになりました。今後、それがどの程度、野生動物やそれを取り巻く環境、そして生態系の保全・保護に貢献できるかは、我々の努力次第です。

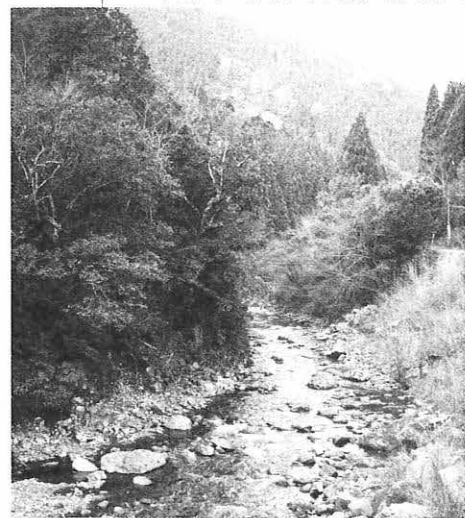
(あかき ちかこ)

# 釣り人から見た自然

飼育課：西田 俊 広

フライフィッシングなるもの(以下FF)を始めてからと言うもの、毎年3月1日から9月30日まで、休暇となると溪流へ足を運ぶ事が極端に増えました。いわゆる「ハマっている」状態がここ5年間も続いています。このFFというのを簡単に説明しますと、自(みず)からフック(釣針)にハックル(鶏の羽根(ミノ毛))を巻きつけ、あたかも水生昆虫のように造り上げ、それを8フィート(約2m40cm)前後のフライロッドおよびリールにセットし、魚を釣ること…となるのでしょうか。皆さんもご存知の映画「リバーランズスルーイット」に出て来る竿を前後に振り、釣り糸を自在に操(あやつ)っている、そう!あれなんです。私がFFをして、日頃遊んでくれているのは「アマゴ」という溪流魚で、溪流の女王とまで言われるほど、赤い小さなルビーを散りばめたようなきれいな魚です。このアマゴの主食となるものがFFに使用されるフライの源、水生昆虫なのです。この水生昆虫とはあまりにも種類が多く、カゲロウ、トビケラ、カワゲラはもちろんのこと、ヤゴ、ミズムシ他までも含まれますが、一般的にはカゲロウ類等になるのでしょうか。このカゲロウ類は水流の「早い遅い」、岩の「大小」などの環境に合わせて岩にへばりついたり、そのスキ間に身をよせたり、砂にか

和歌山県日高川支流分岐点から小川を望む。人為的に植えられた植林の杉が山頂まで続く…

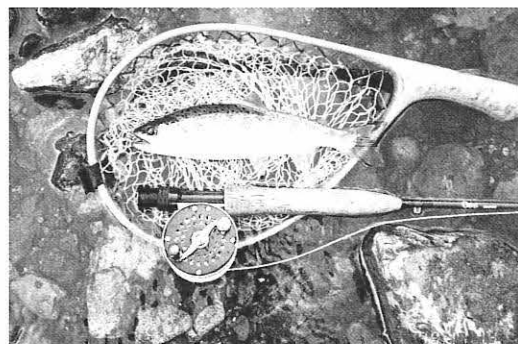


くれたりして、さまざまな体型を持ち水中環境に適応し、何よりその多くが落葉広葉樹の枯葉や珪藻(けいそう)類を食物として生きぬいているのです。今頃彼等はせっせと採食

をして、成長を続けていることでしょう。彼らは水温が上昇し始める3月~6月頃には幼虫時代から亜成虫を経て成虫となり

子孫繁栄のために繁殖行動を行なうのですが、実はこの時期の彼らは脱皮や(成)化・交尾・産卵を行なうためにたいへん無防備な状態になります。これを狙(ねら)っているのがアマゴなのです。しかしこの時アマゴ達も摂餌行動に夢中になるあまり、本物のカゲロウそっくりに造られたフライを思わず本物と見間違えて「パツクリ」食べてしまうわけです。これ当然、釣り人のターゲットとなります。釣って「ニンマリ」する私と釣られて「真っ青」になるアマゴとの間には実はこんなことがあったのです。何か食物連鎖の一角にいる錯覚を感じることもさえあります

**魚**を釣る事にこれほど二次的、三次的要素というものを考えさせられた事など今まで一度もありませんでした。仕事柄、FFに夢中でも鳥達の声や目の前をかすめていく陸生昆虫さえも見のがすはずもなく、川辺にあるフィー



私が操るフライに飛びついたアマゴ(23cm)と、フライフィッシングの道具

ルドサイン(動物達が残して行った足跡、食跡、排泄(はいせつ)物etc)も私を楽しませてくれ、つい足が川へと向いてしまうのです。

こんな体験を皆さんも是非一度…  
という事でいざ出発!

'99年3月某日、天気快晴北風少々  
気温9℃、水温6℃

まだまだ水も指先をつらぬくほどの冷たさ、でも水中ではすでに水生昆虫が活発に活動しているようで、カワガラスがもう生まれた雛(ひな)に餌を運んでいる。もちろんそれは水生昆虫で、カワガラスも盛んに水中へと身を投げ餌をさがしている。どうやらカゲロウやカワゲラもまだ

幼虫のようだ。

'99年5月某日、天気晴時々曇  
気温17℃、水温12℃

カゲロウもそろそろ幼虫から亜成虫になっているらしく、キセキレイやセグロセキレイが水辺をチョコカカ歩いては、ちょっと跳び上がったたり、すぐ舞い下りたりを繰り返して捕えている。川面に目をやると一匹のカゲロウが水面から舞い上がっていく…と次の瞬間アッ! アマゴがそれに跳びついた…チャンス到来、さっそくフライを投げ入れたが…。新緑の濃淡が心地良く目に映る。ウグイスも快調に「ホーホケキョ」。おや? アレはオオルリ? 夏鳥だ。もう日本に渡って来たのだ。鹿の足跡もあるなあ。水を飲むならちょっとにして、すぐ山にもどって! 足音でアマゴが逃げてしまう…人間は勝手だ。夜間、自販機前で水生昆虫採集。それにしても今日は良く釣れた? 納得。

'99年7月某日、天気曇り時々わか雨  
気温22℃、水温19℃

日中汗ばむぐらいで目玉の直前をメバエがうろちょろし、結局目玉に飛び込んで来た。あーまぶたがゴロゴロする。くそ! プユにも刺された。カユイー。湿度が高いなあ。木にも苔(け)がはえて着生植物も只今成長期。川を釣り上っていくとミソサザイに警戒され、よく見ると巣立ちビナ1羽発見。悪いと思いつつもとりあえず観察、のちすぐに立ち去る。割りばしぐらいありそうなオニヤンマが頭上をかすめて飛んでいった。エメラルドグリーンの大きな目玉がよく似合う。

'99年9月某日

釣れたアマゴにそろそろ婚姻色(※)がはじまっている。10月も過ぎる頃には繁殖するのだろう。そっと流れにもどしてやる。今月いっぱい禁漁となる理由を再度認識させられる。今年2度目の彼岸花が咲いている。アゲハチョウも夏型でかなり大きい個体だ。ススキの穂が顔を出している。夜は寒く感じる。自販機前にもあまり昆虫見当らず。地元のおばあちゃん(親子のように親しくなった)に畑で採れたキュウリとジャガイモをもらう。でもジャガイモはイノシシに「だいばやられた」そうだ。イノシシも生きるのにたいへん。もう山に餌がないのだろうか? それとも楽しんで食べられるのを覚えたのか? どちらにせよ毎年11月15日からは狩猟が始まる…。「キジも鳴かすば撃たれまい」。…と言う事で、いかがでしたでしょうか? 少しでも山間部に行



った気分が味わえていただけたでしょうか?

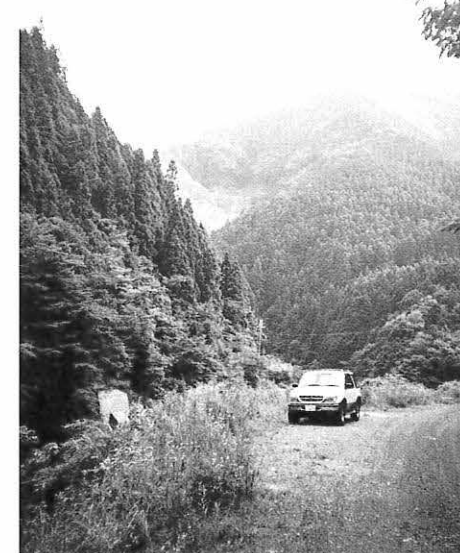
たくさんの生き物が出て来ましたが、この山の上層部でさえほとんどが植林で、川の最上流部などは砂防えん堤だらけなのです。ですから決して本当の自然ではないように思います。そして川のアマゴも年に一度20万匹という数が放流され、一年を通じて釣り人に釣られていく…これが現実なのです。

**広** 葉樹が減り水生昆虫の食物がなくなる。同時に木の実も減り、それを食べるシカ、イノシシが飢餓状態になり田畑を荒し、山の保水力がなくなり川が干上がる。魚は全滅。こうならないためにも、あるいはこれ以上、いまある環境を悪化させないためにも今出来る事から何か始めてみませんか? ちなみに私はFFを始めてからタバコ

の吸いガラや釣り糸・針・アキ缶等を回収するようになり、現在も続行中、釣ったアマゴもほとんど再放流するようになりました。でも現地まで車で行き、多量のCO2を排出しているのもこれまた事実なのですが…。西暦2000年、あなたは自然

に対して何もしていないつもりですか? みんなでちょっと考え直しましょう。ネッ。(にしだとしひろ)

日高川支流分岐点から小森を望む砂防堰堤と魚道(左側)。たまたまここに遊(あそ)ぶところがあるのか?



小森上流から支流の出合いを望む。植林帯と伐採後のハゲ山が見える。これでは川の水量も減るはず…

# ある夏の日のできごと

飼育課：大野 尊信

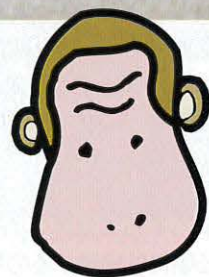


1 メロンを一つだけ与えてみました

ニホンザルの餌はサツマイモ・リンゴ・バナナ・ミカン・青草等とサル用のペレットを数回に分けて与えています。

とある夏の日、モミジの好物のメロンを一つだけ朝食の前に与えてみました。最後までモミジがメロンを全部食べてしまうのでしょうか…。

メロンをめぐる動きを追ってみました。



ワタンがこの天王寺動物園のサル島のボスザル(第1位)のモミジよ。



2 モミジが早速かぶりついて



3 中の種をほじくりだして…



4 モミジの周りには忍さを知らない子供たちがスキを狙っています。



6

5

少し目を離すとこのありさま！

美味しいところを食べたモミジが去ると…



スゴイ…

7 子供たちの取り合いが始まります。

8 バラバラになったメロンを追ってレースのスタートになりました。

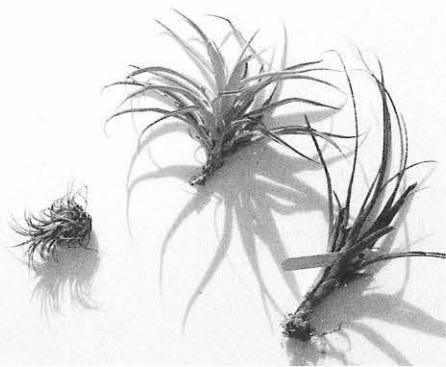


約30種類で  
250株のエ  
アープラ  
ンツと、パイ  
ナップル系  
と、アナナ  
ス類

前回に引き続いて、空中植物（ティランジア）の紹介をしたいと思います。

現在、天王寺植物温室1階に展示しておりますティランジアは、前回の紹介時より10品種、1000株に加え、インペリアリス、バリアピリス、ダイエリアーナ、パレセア、ファンシキユラータ、デッペアナ、ソムニアリス、ブラキカウルス、トリコロール、メラノクラテル、ウスネオイデス（サルオガセモドキ）などが育っています。

そこで展示されているティランジアについて、詳しくお話ししたいと思います。

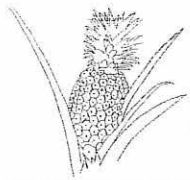


左：イオナンタ  
銀葉系で光を好むが直射日光は避ける  
中：カピタータ  
銀葉系は、光を好み、水は少しでいい  
右：マレモンティー  
緑葉系は弱い光と水を好む

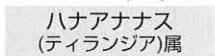
### 花の特徴



花ピラ3枚  
でおしべ・め  
しべが外に  
出ていない



パイナップル  
(アナス属)



ハナアナナス  
(ティランジア)属

花のめしべが外に出てお  
り、その回りをおしべが  
囲んでいる



花が紫色で  
めしべだけ  
が出ている

サンゴアナナス属



フリーセア  
(インコアナナス)属

## FLOWER NEWS 公園花だより No.25 空中植物 ティランジア

ティランジアの原産地は、アメリカの南部から中米、南米にかけて広く分布し、グアテマラが産地として有名です。アナス科に属し、パイナップルと同じ仲間です。種類は400種以上あります。多くは樹木や岩場、電線に自然着生しています。根は付着するだけが役割で、水分は空気中から葉面吸収されるため、ティランジア（空気植物）と呼ばれています。

ティランジアは、基本的に銀葉系と緑葉系の2つに分類されます。性質として、銀葉系は比較的光を好むが、直射日光は禁物です。また、緑葉系は弱い光と水分を好みます。

植物温室では、この2種類のティランジアの性質をふまえたうえで、管理しています。

品種としては、銀葉系では、イオナンタ、カピタータ、アルゲンティア、イキシオイデス、マグンシアーナ、カクティコラなど40種650株を展示しております。これらは、銀色から赤色系へと変色し、紫色の花を春と秋に咲かせます。

緑葉系では、ブラキカウルス、バルピシアーナ、アエラントス、マレモンティーなど20種350株を展示しています。こちらは、赤色と桃色の花が付き、花径は、5cmから10cmぐらいの大きな花を咲かせるのが、特徴とされています。

澆水、温度等に注意しながら管理をしています。  
(管理課温室班：森岡伸晃)

- 10/1 ●カワセミが保護されましたが、異常がなかったため放鳥しました。
- 10/10 ●当園園長が動物を解説する「天王寺動物園園長のお話～動物不思議発見～」を開催しました。  
●天王寺公園・天王寺動物園写真コンクール表彰式を開催しました。コンクールには今年も多数の力作の応募がありました。
- 10/11 ●「秋の動物と花のフェスティバル99」がスタートしました。11月3日まで

「ステージで行われた  
ごんちんは、どうぶつくんた



での休日ごと、トラの企画展、動物相談、ステージショーなど様々なイベントが催されました。

- 10/12 ●フタコブラクダのオスの放飼場にはじめて若いメスを入れて、一時的に同居させました。様子を見ながら少しずつ慣らして、繁殖をめざします。



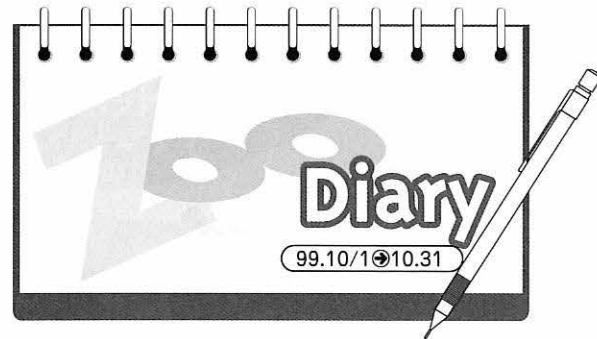
- 10/13 ●園長が国際園館長会議ならびに保全繁殖専門家会議出席のため、24日まで南アフリカのプレトリアを訪れました。



- 10/16 ●当園飼育係による動物園のおじさんのお話「ペンギンさんの一日」を開催しました。
- 10/18 ●保護されていたタヌキやトビなどの5種の野生傷病鳥獣の状態が回復したので放獣しました。

### お知らせ

- 天王寺動物園・天王寺公園は12月29日(水)～1月1日(土)は休園となります。新年は1月2日(日)より開園します。また、1月3日(月)も開園します。
- もちつき大会  
1月3日(月) 動物園内救護室横



- 10/18 ●今年ふ化したニホンコウノトリ3羽を兵庫県内にオープンするコウノトリの郷公園にプレゼントしました。ここでは、国内で絶滅したコウノトリの将来的な野生復帰をめざしています。
- 10/19 ●フンボルトペンギンのメス1羽を京都市動物園に繁殖のために貸し出しました。近親交配を避けるためにも、動物園同士での繁殖のための貸し借り（ブリーディングローンと呼ばれています）が増えています。
- 10/23 ●当園飼育係による動物園のおじさんのお話「カバさんの一日」を開催しました。
- 10/28 ●オオタカメス1羽が東京都恩賜上野動物園から贈られてきました。  
●アカダイショウ1頭、ヒョウモントカゲモドキ2頭、アオハリトカゲ5頭を埼玉県こども動物自然公園に贈りました。
- 10/30 ●当園飼育係による動物園のおじさんのお話「チンパンジー君の一日」を開催しました。
- 10/31 ●飼育係長が東南アジア動物園協会総会出席のため、11月5日までベトナムのホーチミンを訪れました。  
●平成11年度動物園ボランティア入会説明会を開催しました。



天王寺動物園特製  
カレンダー  
プレゼント



1月2日(日)・3日(月)  
天王寺公園・動物園あわせて、  
両日とも先着500名。

愛ある暮らし、応援します。

# Kintetsu

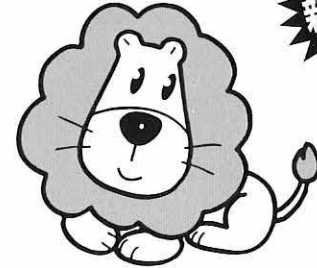
近鉄百貨店

FUJIFILM  
I&I-Imaging & Information

新発売

楽しいショットを  
3つのサイズで。

ADVANCED  
PHOTO SYSTEM



FUJICOLOR スーパー  
スリム  
APSフィルム使用  
**切替**

撮影シーンに合わせて、  
標準・ハイビジョン・パノラマのサイズを自由に切替。

- スーパースリムの手軽さにプリントサイズ選びの楽しさプラス。
- APSフィルムだからインデックスプリントも。
- 切替はファインダーも連動、見たままのフレームでパチリ。

**かたらの大林**

桜橋本店 ☎6341-8091  
阪急三番街店 ☎6372-5031

## 子どものずかんシリーズ

### ① どうぶつえん

26.5×21cm 各巻定価 本体1,000円(税別)  
全国学校図書館協議会選定

動物園にはいろんな動物を見ることができます。  
ただ、単に見るだけではなく、その動物の特長や生態、  
何を食べているか、またその仲間たちはどんなものが  
いるかがこの本でわかります。さあ、この本を持って  
もう一度動物園へいってみよう。

お求めは、お近くの書店で。  
**ひかりのくに株式会社** 本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2 TEL.06-6768-1151代表

## 狼と生きて

父 平岩米吉の思い出



平岩由伎子[編著] ●新刊  
3,500円+税 ●限定1000部  
狼と犬と猫の生態を研究し、動物学  
を はじめて世に紹介した平岩米吉  
の波瀾に富んだ創造性豊かな生涯を  
娘の眼から深く描く。  
夏の旅の思い出、ふしぎな巡りあ  
わせ、動物画家・大崎善司、日本好き  
のスター博士など、名品を掲載。

平岩米吉の本

**狼** その生態と歴史  
2,600円+税

**犬と狼**  
●2刷出来 2,500円+税

**犬の生態**  
●6刷 2,000円+税

**犬の行動と心理**  
●4刷 2,000円+税

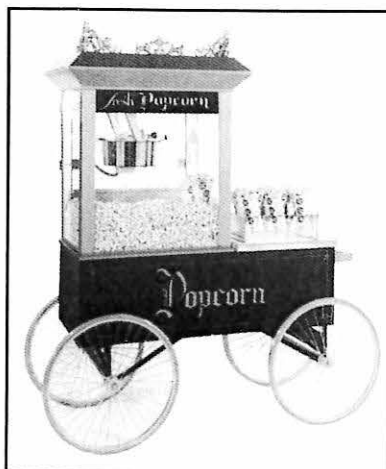
**私の犬**  
2,200円+税

**猫の歴史と奇話**  
2,200円+税

**動物文学** 復刻版 [全10巻+補巻・索引]  
174,757円+税 ●限定300部(分売不可)

南方熊楠、柳田国男、小川未明……錚々たる執筆陣が数々の作品・論考を寄稿し発表した幻の戦時中資料。

**築地書館** 〒104-0045 東京都中央区築地7-4-4-201 TEL03-3542-3731 FAX03-3541-5799 (発送料一律400円)  
●ご注文は、最寄りの書店または直接上記宛先まで。E-mail Address= JDH07647@niftyserve.or.jp



## マスターのポップコーン



〈営業品目〉 製造機械・保温機 他  
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

〒561-0856  
**(株)増田食品** 大阪府豊中市穂積 1-10-30  
TEL (06)6865-0165

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」  
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

**コアラテレホンカード(限定販売)**  
好評発売中 ¥800(50度用)

## 天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……



オールカラー

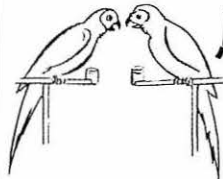
**500円** 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)6771-0201





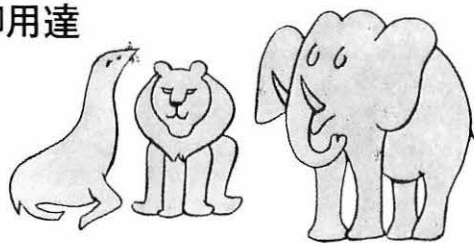
近畿 コカ・コーラ ボトリング 株式会社  
KINKI COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. (コカ・コーラ指定会社)  
Coca-ColaとCokeはThe Coca-Cola Companyの登録商標です



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号  
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、  
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数カ所にあります

関西特機株式会社  
電話06-6762-2333  
1回 30円

動物園内での  
お食事、  
ご休憩は



動物園内.....

## 中央売店

TEL06-6771-0973

お食事・飲み物・おみやげ 動物園内  
南園売店 TEL06-6771-7110



## 天王寺動物園 MAP

天王寺公園



阪神高速松原線

動物園入口

- 入園料 動物園/大人500円 公園/大人150円 中学生以下、65歳以上無料
- 開園時間 午前9時30分~午後5時(入園は4時まで)
- 休園日 毎週月曜日(月曜日が休日に当たる場合は翌日休園)

大阪市天王寺動植物公園事務所 〒543-0063大阪市天王寺区茶臼山町1-108 TEL.06-6771-8401



# 365日、毎日毎日骨太に。



牛乳のカルシウム吸収のよさそのままに、  
1本で1日分のカルシウム。



カルシウムを摂るなら牛乳や乳製品が理想的。それは、牛乳のカルシウムは、とても体に吸収されやすいからです。この牛乳のカルシウム吸収のよさはそのままに、カルシウムの量を600mg (成人1日あたりの所要量) までアップさせた、雪印毎日骨太。日本人に不足しがちなカルシウムを、効率よく補給するために、ぜひ毎日お召上がりください。



## 雪印 毎日骨太

300ml・100円 / 希望小売価格 (税別)



## 一日、愉快地 たのしめる

◎園内2カ所 (中央デッキ下・南園高架下) に、各種のりものがあります。



ほんとに  
楽しいネ!



中央デッキ下

久竹娛樂株式会社  
TEL (06) 4397-0100 (代)



南園高架下

編集委員

中尾啓一 / 中川哲男 / 石井 等 / 藤田四郎 / 沖田紀行 / 山崎道正 / 長瀬健二郎 / 谷森 進 / 長澤英資 / 森本委利 / 高橋雅之 / 市川久雄 / 竹田正人 / 高見一利 / 満 勇二 / 松岡秀和 / 萩原祐二 / 坂本 全 / 森岡伸晃 / 野口秀高 / 大野尊信 / 早川 篤 / 西村慶太 / 油家謙二